

とっとり 土地改良だより



発行
みどり
水土里ネットとっとり
鳥取県土地改良事業団体連合会

〒680-0911 鳥取市千代水四丁目37番地

TEL (0857) 38-9500 FAX (0857) 38-9577

<http://www.totirengonet.or.jp>

印刷所 日ノ丸印刷株式会社



「コスモス街道」 撮影場所：米子市 淀江町 稻吉
(多面的機能支払交付金 農村環境保全活動)

目

次

○「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の創設について	2
○土地改良区体制強化事業監査実務等向上研修	3
○統合整備推進研修(会計研修)	4
○2022年度インターンシップを実施	5
○「とっとり水土里の女性会」が現地視察・研修会を実施	6
○R4年度 水田の自動給水化(実証機の設置事例紹介)について	7
[シリーズ]	
○あつまれ、 ^{みどり} 水土里のなかまたち	8
○編集後記	8

「電力・ガス・食料品等 価格高騰重点支援地方交付金」の創設について

本県は、農事用電力の高騰にかかる支援について、令和5年度の要請活動（8月4日、5日）において農林水産省、財務省、国会議員等に要望内容として要請しておりました。

このことについて、令和4年9月9日付けで、農林水産省 農村振興局 整備部 水資源課 施設保全管理室 課長補佐（管理技術班）から地方農政局 農村振興部 水利整備課長宛てに事務連絡がありましたのでお知らせします。

（以下、事務連絡からの抜粋）

令和4年9月9日に開催された第4回物価・賃金・生活総合対策本部において、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援を一層強化するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」（予算額6千億円）を創設することが示されました。

本交付金の活用にあたり物価高騰対策として効果的と考えられる事業が「推奨事業メニュー」として提示されており、「⑥農林水産業における物価高騰対策支援」の中に「土地改良区における農業水利施設の電気料金高騰に対する支援」が位置付けられています。

なお、本交付金に関する改正版の制度要綱等は、内閣府より近日中に通知されることとなっています。

推奨事業メニュー

生活者支援

① エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う低所得世帯支援

住民税非課税世帯以外の世帯を含む低所得世帯を対象とした、電力・ガスを含むエネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減するための支援

※ 住民税非課税世帯には、「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」（仮称）として、1世帯当たり5万円をプッシュ型で給付。

② エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援

物価高騰による小中学生の保護者の負担を軽減するための小中学校等における学校給食費等の支援

※ こども食堂に対する負担軽減のための支援やヤングケアラーに対する配食支援等も可能。

③ 消費下支え等を通じた生活者支援

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者に対してプレミアム商品券や地域で活用できるマイナポイント等を発行して消費を下支えする取組などの支援

④ 省エネ家電等への買い換え促進による生活者支援

家庭におけるエネルギー費用負担を軽減するための省エネ性能の高いエアコン・給湯器等への買い換えなどの支援

事業者支援

⑤ 医療・介護・保育施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援

医療機関、介護施設等、障害福祉サービス施設等、保育所等、公衆浴場等に対するエネルギー・食料品価格の高騰分などの支援

⑥ 農林水産業における物価高騰対策支援

農業者が構成員となる土地改良区における農業水利施設の電気料金高騰に対する支援や、高騰する化学肥料からの転換に向けて地域内資源を活用する独自の取組などの支援

⑦ 中小企業に対するエネルギー価格高騰対策支援

中小企業に対するエネルギー価格高騰の影響緩和や省エネ・賃上げ環境の整備などの支援

⑧ 地域公共交通や地域観光業等に対する支援

地域公共交通事業者や地域観光事業者等（飲食店を含む）に対するエネルギー価格高騰の影響緩和、省エネ対策、地域に不可欠な交通手段の確保、コロナ禍にあっての事業継続、地域特性を踏まえた生産性向上に向けた取組などの支援

※ 地方自治体が、上記の推奨事業メニューよりも更に効果があるものについては、実施計画に記載して申請可能。

土地改良区体制強化事業監査実務等向上研修



坂本課長の挨拶

9月1日(木)「倉吉未来中心」において、水土里ネットとっとりが土地改良区の監事等を対象とした「土地改良区体制強化事業監査実務等向上研修」を開催し、土地改良区の監事等53名の参加がありました。

開会にあたり、水土里ネットとっとり 会員支援課 坂本課長が「本日お集りの土地改良区では、令和4年度から作成が義務づけられた決算関係書類である貸借対照表作成のため、年度当初から複式簿記による事務処理が始まっています。又、それに併せて、収支予算においても会計科目の名称が変更となっています。本日は、お集り頂いた監事さんにしっかり会計科目、貸借対照表の意味を理解して頂きたいと思います。」と挨拶しました。

1. 土地改良区の監事の職務（水土里ネットとっとり 会員支援課 坂本課長）

監事の職務、役員の職責（善管注意義務）等について説明後、他県で発生している土地改良区の不祥事事例を紹介しました。

また、規約に記載のある決算関係書類の組合員への公表並びに総会（総代会）後の公表について説明しました。

2. 土地改良区の指導・検査（鳥取県 農林水産部 農業振興監農地・水保全課 宮脇課長補佐）

鳥取県が土地改良区等に対して行っている業務及び会計の状況に関する検査の概要について説明されました。

また、令和3年度に実施した21土地改良区の定期検査（原則3年に1度）の結果について、①組織及び運営に関する事項 ②会計経理に関する事項の説明がありました。

なお、今回の内容は、鳥取県農地・水保全課のホームページに掲載されています。

3. 収支予算書・収支決算書、貸借対照表について（水土里ネットとっとり 総務企画課 吉村課長）

複式簿記導入促進特別研修テキスト資料編と補足資料を用いて、主な収支科目、貸借科目の意味（内容）について説明しました。

また、これまであまり馴染みがないと思われる財務諸表に対する注記、収支決算書に対する注記についても説明しました。



宮脇課長補佐の講義



吉村課長の講義

統合整備推進研修(会計研修)



研修会の様子

9月22日(木)とりぎん文化会館第2会議室において、水土里ネットととりが統合整備推進研修(会計研修)を開催し、土地改良区職員ほか31名の参加がありました。

開会にあたり、水土里ネットととり 会員支援課 坂本課長が「本日、参加されている土地改良区は、すでに、令和4年度から複式簿記を導入されていますが、引き続き、巡回指導又は個別指導等を通じて今後も対応させていただきますので、何かございましたらご連絡をお願いします。」と挨拶しました。

続いて、日程表に従って、全土連講師による研修が行われました。

また、都合により、今回参加されていなかった土地改良区(複式簿記導入済み)へは、テキスト等配布させて頂く予定です。

<日程表>

時間割	内 容
13:15-13:20	開 会 鳥取県土地改良事業団体連合会
13:20-14:00	研 修 ①財務諸表等の作成手続き(基礎編) 全国水土里ネット 支援部 主査 金内琴美
14:00-14:10	休 憩
14:10-15:20	研 修 ②財務諸表等の作成手続き(実践編) 全国水土里ネット 支援部 主幹 田中克哉
15:20-15:30	休 憩
15:30-16:15	研 修 ③財務諸表等を活用した財務分析の方法 全国水土里ネット 支援部 主査 金内琴美
16:15	閉 会



金内琴美主査の講義



田中克哉主幹の講義

2022年度インターンシップを実施

本会では、2008年度から大学生を対象にインターンシップ(職場実習)を実施しています。本年度も、9月5日(月)～9日(金)の5日間、鳥取大学から1名を実習生として受け入れました。

この実習は、大学生が在学中に自分の専攻に関連する企業に体験入社し、様々な業務を経験する目的で実施されています。

本年度は、CADトレーニング、ため池点検、測量実習などを体験して頂きました。

【インターンシップを終えて】

鳥取大学 農学部 生命環境農学科 2年生 松本 明子

五日間という短い間でしたが、ありがとうございました。インターンシップに行く前は、仕事がわからなくて、何をしたらいいのか分からず、つらい日々になるのではないかと想像していました。

いざ始まってみると、一から丁寧に仕事内容を教えてくださり、毎日新しいことを知ることができて楽しかったです。二年生だと知識が乏しくて多くを学べないかと思ったけれど、逆にもっと農業土木を知りたいと思うことができたし、就職を意識しすぎずにお仕事を見ることができたと思います。

お忙しい中、受け入れてくださりありがとうございました。



測量実習



ため池点検



土地改良施設の見学の様子

「とっとり水土里の女性会」が現地視察・研修会を実施

9月27日（火）とっとり水土里の女性会が、下蚊屋ダムの監査廊および小水力発電施設の現地視察を実施し、25名の会員が参加しました。

実際に監査廊に入らせていただき、普段どのような点検をされているのかを教えてくださいました。また、小水力発電施設では、ダムの水を利用して最大出力197 kw（約430世帯相当）の発電が行えるとのことでした。



監査廊の視察



小水力発電施設の視察

その後、奥大山ブルーベリーファームに移動して、座学研修が行われました。

水土里ネットとっとり 総務企画課 吉村課長が「土地改良区を取り巻く法律の改正について」と題して話をしました。内容は、これまでに法改正された労働基準法等の改正内容や今年度から法改正された育児・介護休業法等、そして今後改正される法令等についてでした。法改正に伴う対応について、皆さん真剣に受講されていました。何よりも、久しぶりに会員同士顔を合わせ、有意義な意見交換を行うことが出来ました。



研修会の様子

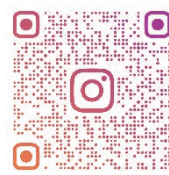


集合写真

女性会の Instagram を開設しました！ 研修会の様子や活動の案内等、随時更新していくので是非ご覧になって下さい！

アカウント：とっとり水土里の女性会

ユーザー名：@tottori_midori_no_joseikai

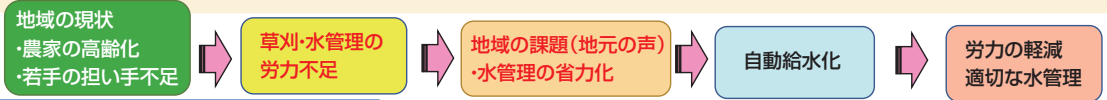


TOTTORI_MIDORI_NO_JOSEIKAI

R4年度 水田の自動給水化 (実証機の設置事例紹介) について

～ 水管理省力化の取り組み・スマート農業の推進 ～

水稲の総労働時間の約3割は、水管理労力です。特に大規模農家は、離れた場所にある複数の水田で耕作するため、全ての水田の水回りを管理するだけでも多大な時間を要しています。水土里ネットとつとでは、令和2年度から水田の水管理労力の低減が期待できる**自動給水装置**を試験的に導入し、その効果の検証を行うと共に展示による啓発普及を図っています。



実証に設置した自動給水装置

費用【令和4年10月時点(税込み)】

名称	ほ場水管理システム「WATARAS」			農匠自動給水機
メーカー名	農研機構・(株)クボタケミックス			農匠ナビ(株)
概要	スマートフォン等によりモニタリングしながら、遠隔操作または自動で給水制御を行うシステム			水位センサー(上限・下限)により給水と止水を行うシステム
取水方式	パイプライン(推奨)	開水路バルブ式	開水路ゲート式	開水路
収集データ	水位・水温・給水バルブ開度			
概算費用(労務費含まず)	機器本体：¥132,000、水位水温計：¥33,000、通信中継器(1~40台対応) ¥330,000			機器本体：¥65,100
	アタッチメント：¥25,000	バルブ等：¥35,000	柵・ゲート等：¥115,000	配管材料等：¥20,000
維持費(年間)	初期設定費：¥16,500(初年度のみ)、システム使用料：¥33,000(1~40台まで同額) 電気代・通信費：若干			単1乾電池8本 ¥1,500
設置場所	—	鳥取市国府町・米子市淀江町	鳥取市国府町栃本地内	鳥取市国府町栃本地内

米子市淀江町稲吉(1基設置)

位置図



WATARAS開水路バルブ式設置状況



WATARAS通信装置(左:無線BOX 右:通信BOX)



鳥取市国府町栃本(3ほ区に設置)

WATARAS開水路バルブ式(R2~継続設置)



WATARAS開水路ゲート式(R3~継続設置)



農匠自動給水器(R2~継続設置)





愛と絆のある農業・農村をめざして
みどり水土里を愛する
なかまたちを順次ご紹介

鳥取県 農林水産部 農業振興監農地・水保全課 農林技師 上田侑輝



今年の春に大学を卒業し、今年度から農地・水保全課に配属されました上田侑輝です。まだまだ分からないことが多いのですが、上司や先輩方のご指導のもと頑張っています。小学校から高校までは奈良県に住んでいて、鳥取県には大学の頃から来ました。学生時代は運動が特に好きで部活や習い事を頑張っていました。小学生の頃は水泳やテニス、バスケなど様々なスポーツをしていましたが、中学から大学まではバドミントン一筋で部活動に励んでいました。大学では中四国学生バドミントン連盟という大会運営等を行う団体にも入っており、大変なことも多かったですが、たくさんのことを学ぶことができ今でも本当に頑張ってきたと思います。運動が好きと書きましたが、社会人になってからは体を動かしたいと思って一人だと家に帰るとすぐに寝てしまうことが多く、部活動のような一緒に頑張れる周囲の人の存在の大きさを感じている近頃です…。

鳥取県に来て今年で5年目になり、様々な場所に行ったり体験したりしましたが、まだまだ知らない場所も多いです。機会があれば是非皆さんのお勧めの場所を教えてください！鳥取県は海や山、滝など自然豊かな場所が多いのでとても楽しいです。

先日、岩美町でカヌーをしたのですが、とにかく楽しくて、海もとてもきれいで感動しました。いつかサーフィンやヨットなど他のマリンスポーツもしてみたいと思いました。また、大学生になって初めてスノーボードを経験したのですが、こちらもすごく楽しくて、鳥取県は近くにスキー場があるのでこれからもたくさん行きたいなと思っています。

そして最近鳥取県の温泉旅館に泊まることも好きになりました。大学生の時に山陰の割引があるとのことで初めて温泉旅館に泊まってから温泉もごはんも旅館の雰囲気もとても良く、それ以来温泉旅館をメインに宿泊することが増えました。今まで行ったのは三朝温泉がほとんどなので、県内の他の旅館にも泊まってみたいです。これからもっと鳥取県でいろんなことに挑戦して楽しみたいと思います。

仕事において今後多くの方と関わってたくさん勉強して、信頼される人になれるよう限られた時間の中で自分が成長できるように努力します。まだまだ未熟な私ですが、精一杯頑張りますので、これからもよろしくお願いします！



編集後記

最近肌寒くなり、秋を感じる今日この頃です。夏には牡蠣をおなかいっぱい食べたり、かき氷屋さんのはしごをしたり、おなかを下すのではないかと心配になりましたが、無駄な心配で自分のおなかの強さに感服しました。これからは食欲の秋ということでわくわくしてます！

